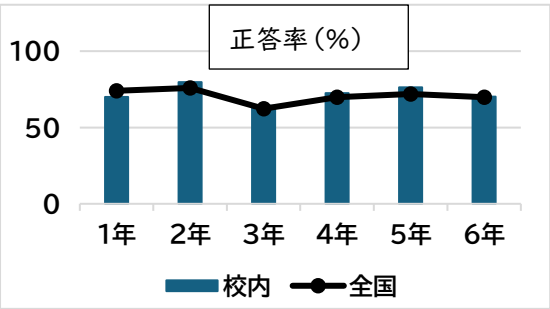
# 令和6年度摂津市学力定着度調査の結果と今後の取り組みについて

摂津小学校　学力向上・研究推進委員会

令和6年度12月に行われた摂津市学力定着度調査について、本校の結果の概要がまとまりました。成果と課題が顕著に表れた内容とともに、結果分析をふまえ、どのように学習指導を改善していくのかについてご報告いたします。

## 国語

全国と校内の正答率を比較




| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正答率（%） | 校内 | 70.0 | 79.7 | 64.2 | 72.5 | 76.3 | 70.2 |
| | 摂津市 | 72.2 | 76.6 | 61.6 | 70.4 | 69.1 | 67.2 |
| | 全国 | 74.0 | 75.9 | 62.3 | 69.9 | 71.9 | 69.9 |

〇2年生から6年生の正答率が全国平均を上回り、特に「読むこと」の領域でよい結果が得られました。

〇1年生は「かん字を読む力」は、全国平均を上回りましたが、それ以外ではやや下回る結果となりました。

〇全ての学年で言葉の意味や由来、主語・述語など、言葉のきまりに課題が見られました。

●考えられる要因

たくさんの本を読み、交流を通して自分の考えを深める活動を続けています。意欲的に読書に取り組めている一方で、物語を読むときに、言葉の意味を間違えて捉えたまま、読み進めてしまっていることがあります。

【今後の対策】

令和７年度は、**『主体的に「伝える力（表現）」と「学び合う力（対話）」を育む』**ことを重点目標として取り組みます。

そのために

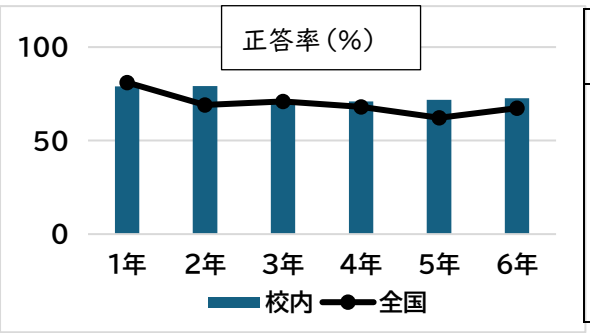
〇「伝えたい」「みんなと学びたい」という思いを高められるよう、みんなが生き生き楽しく学べる授業をめざします。

〇自分の伝えたいことを言語化する力を高めるために、辞書を活用しながら思考を整理する力を育みます。

〇語彙を増やし、必要な言葉を選び抜く力を身に付けるために、授業や宿題を活用して繰り返し取り組みます。

## 算数

全国と校内の正答率を比較




| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正答率（%） | 校内 | 79.0 | 79.2 | 69.6 | 70.9 | 71.8 | 72.7 |
| | 摂津市 | 72.2 | 76.6 | 61.6 | 70.4 | 69.1 | 67.2 |
| | 全国 | 81.1 | 69.1 | 70.9 | 68.0 | 62.2 | 67.3 |

○2 年生、4年生、5 年生、6 年生は全国平均を上回り、特に「データの活用」の領域で、よい結果が見られました。

○1 年生、3 年生は全国平均をやや下回る結果となりました。
「たし算の計算」においては全国平均を上回りましたが、1 年生は「20までのかず」「ひきざん」「かたち」、3 年生は「10000より大きい数」「わり算」で課題が見られました。

●考えられる要因

低学年は、学習内容の定着に時間がかかる時期であり、四則計算の繰り返し練習が十分でない可能性があります。特に、1 年生では「たし算」はできても「ひき算」に課題が見られ、3 年生では「かけ算」はできても「わり算」に課題が見られることから、単なる反復練習だけでなく、計算の意味を理解させることや、日常生活の中でどのような場面でどの計算を使うのかを考える活動が必要だと考えられます。

【今後の対策】

○具体物やブロック、図などを用いて数を操作し、計算の意味を理解する活動に取り組みます。

○式だけでなく、「なぜその計算にしたのか」を考えたり、言葉で説明する活動を取り入れます。

○学習中の内容だけでなく、これまでの復習を宿題に取り入れます。

○同じ形式の問題を繰り返すだけでなく、少しずつバリエーションを変え、さまざまな問題に触れる機会をつくります。

○「家庭学習チャレンジウィーク」などを活用し、ひとりひとりの苦手な単元に個別に取り組む機会を設けます。